



# Sudy & Co., Ltd.

1119 Budapest, Mernok u. 39. Tel: +36-1-883-3687

## ハンガリー経済情報

2018年05月号

### 経済指標と財政状況

■ 経済研究所 GKI の発表によると、ハンガリーの国内経済は 2017 年、4%上昇した。2018 年は 3.8%上昇、2019 年には 3.2%上昇すると予想されている。経済上昇の背景は、昨年同様、今年も堅調な国内成長によるもの。国内消費は4%程度、投資の伸びは4%程度が予測されている。輸出入の貿易収支の差異は縮小。2019 年は経済上昇率は 3.2%まで減少する見通し。消費と投資は今後、緩やかな伸びを示していくことが予測される。

各業界では 2018 年 2 月、堅調な実績を示した。前年時期比で 4.1%増加。今年 1-2 月の 2 か月間では年間ベースで 5.4%上昇している。建築業は今年はじめから伸びが顕著で、今年 1 月は年間ベースで 43.2%上昇。1 月末の建設に関する発注量は前年時期比で 109%増加。建築業のブームが続くと予想される。

小売業は 2 月に高い伸びを示した。年間ベースで 2 月は 6.5%増加。3 月はややペースが落ちたが、2018 年は年間ベースで早い回復が期待されている。2017 年の自動車販売数は 11 万 6 千台、2016 年と比較して 20%の増加となり、個人による購入が増加しているのは特筆すべきところ。2018 年も自動車販売数は二桁で推移すると予想される。



貿易収支も好調で輸入 (6.8%) と輸出 (7.5%) のともに増加。

2017 年から 2018 年 2 月の間の失業率は 3.8%。前年時期比で 0.6%の減少。今年も昨年同様、失業率は減少していくと予測されている。2018 年 1 月、就業者数は 2.7%増加した。(政府が雇用する公共の場の掃除をする人などは除く) ハンガリー人の失業に対する不安は減少している。2019 年の就業者数は 1%増加を見込んでいる。

2017 年、給与額は平均で 12.9%増加した。2018 年も賃金上昇の傾向は続くと思われるが、2017 年と比較して抑え気味の 7%程度の上昇率が見込まれている。

消費は 2018 年 4%、2019 年は約 3%の水準で増加すると予想される。

投資に対する意欲は高く、2017年は16.7%の実績を示した。すべての分野で投資に対する意欲が高くなった。2018年は9%、2019年は7%の投資の成長が予測されている。この背景にはEUからの補助金額が減少していくことが理由として挙げられる。

■ 格付け機関 Fitch Ratings は、総選挙でフィデス・ハンガリー市民連盟が勝利したのはハンガリー経済の成長に良い影響があるものの、マクロ経済の観点で不均衡が発生する可能性があるとして指摘する。同機関はハンガリーが税制赤字を GDP の 3%未満の水準で維持することを期待している。

#### ■ 中東欧と南欧（CESEE）での経済見通し

日本貿易振興機構（JETRO）は2月にウィーンでビジネスセミナーを開催した。メインスピーカーは経済学者の Havlik Peter 氏。Havlik 氏はウィーン国際経済研究所の元副局長を務めた経験がある。スピーチは主に中東欧や南欧地域での経済成長が西欧や米国と比較して活発であること。Havlik 氏は地政学的課題や政治不安が CESEE に与える影響は大きくなく、この地域は中期的に成長を続けるとみている。

スピーチの主な結論は以下の通り

- 中東欧諸国の 2017 年の GDP 予測は上昇に修正された。
- ロシアや西バルカンで 2008 年の経済危機リカバリーは思ったより優しかった。
- 個人消費が底堅く、成長の動力となっている。
- 中東欧や南欧の労働コスト競争力はまだ強い
- 貿易収支の増加
- 経済成長はより確実で安定している
- この地域に共通の労働力不足課題が今後の経済成長に悪影響を与える可能性



出所: <http://www.vie-mission.emb-japan.go.jp>

## ■ 中東欧と南欧の新たな問題 —労働力不足—

過去、10%以上の失業率が経済や社会の大問題であったが、現在は経済成長のカギとなる高レベルの熟練労働力が不足している。EU各国は南欧やウクライナからの熟練労働者を自国へ呼び働いてもらいたいと考える。同時にスロバキア、チェコ、ポーランドやハンガリーなどの難民を受け入れることに消極的な姿勢を示す国もある。難民問題は非常にセンシティブで、議論を伴うもの。同時に給与の上昇率は2桁台になり、労働市場に圧力をかけている。最低賃金の上昇や労働組合による賃金値上げも重要な問題であるが、中東欧や南欧では給与水準は比較的安く抑えられていると言える。例えばオーストリアの平均賃金は3600ユーロであるのに対して、ハンガリーでは1000ユーロ。EUのほとんどの国で単位労働コストは下がっているが、競争力は上がっている。現在、中東欧地域の製造活動は主に自動車関連部門でドイツやドイツ周辺に集中している。

## ■ ハンガリー自動車産業は新たな極地へ

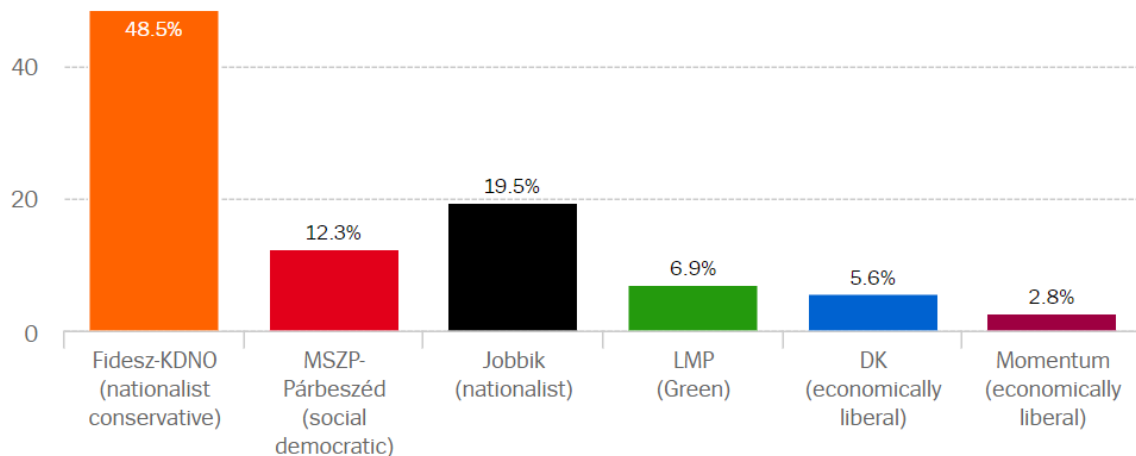
自動車産業はハンガリー経済の最も重要な部分である。ハンガリー製造業の生産高の33%は自動車産業で、新技術の開発に伴い、その重要性はますます高くなっている。ハンガリーの専門知識、生産性や創造性、ハンガリーの立地や競争力のある生産コストなどの要因によりハンガリーは付加価値の高い自動車関連事業で成功している。同時にハンガリーは単なる生産拠点としての役割から脱皮しつつある。優秀なエンジニアや開発者を求めてドイツやアジア企業はハンガリーに工場を建てて、開発センターを設立している。現在は「ハンガリー産」を掲げるのではなく、「ハンガリーで開発」を強調している。



出所: MTI

## 選挙結果について

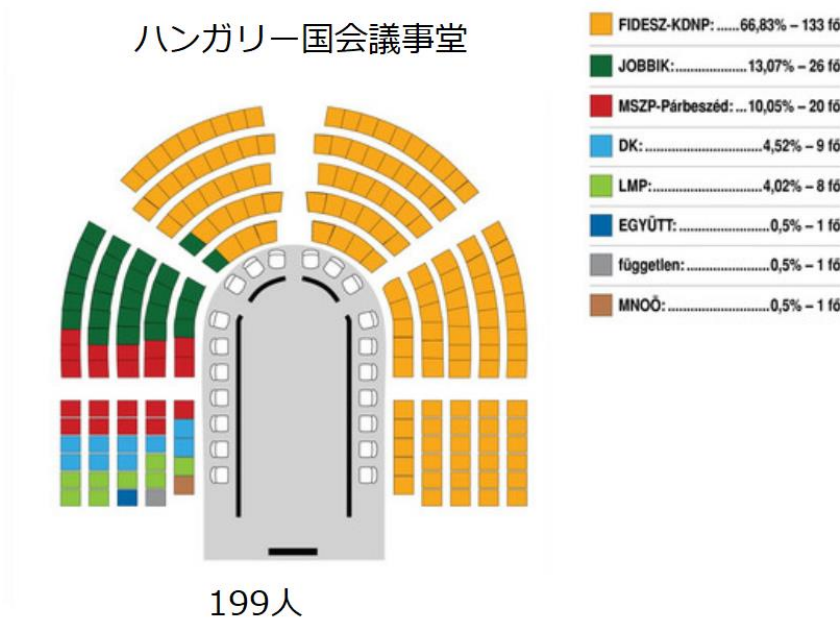
ハンガリーでは4月8日に総選挙が行われ、オルバン首相（54）が率いる与党「フィデス・ハンガリー市民連盟」が勝利した。首相は連続3期目の任期に入るオルバン首相は欧州への移民流入に対する反対姿勢を取っている。特に地方で高い支持を得たとみられる。ハンガリーでは過去に3回続けて勝利を収めた政党はなく、歴史的な勝利とみなされている。選挙管理当局のデータによると、開票率100%の段階で、フィデスは定数199議席中133議席と、憲法改正に必要な3分の2以上の議席を得た。



Source: Hungarian National Election Office, index.hu

極右政党「ヨッビク」は26議席を、社会党は20議席を確保した。ヨッビクの党首は選挙での敗北を認め、辞任した。今回の投票率は約70%だった。選挙結果を受け、中欧、ポーランド、オーストリアで右派政党が勢いを増し、欧州連合（EU）内の亀裂が明るみになる可能性がある。オルバン首相は、財政赤字の抑制、失業率の低下、一部債務の削減のほか、経済を成長軌道に乗せたとの評価を得ている。フランスの極右政党・国民戦線（FN）のルペン党首は、ツイッターでオルバン首相に祝意を伝えた。

## ハンガリー国会議事堂



■ GS ユアサがハンガリーに工場を建設



GS Yuasa はミシュコルツ市の南部にある工業団地に欧州で最初となるバッテリー工場を建設すると発表した。工場は2019年11月から供給を開始する予定。まず40億円を投じてエンジン始動用の組み立て工場を建てる。生産能力は年50万個で、主に欧州の自動車メーカーに供給する。市場の動向を見ながら、電気自動車（EV）やハイブリッド車（HV）などのモーターの駆動に使う電池の基幹部品「セル」の生産で追加投資を検討する。雇用数は50名を予定する。工場と倉庫を併せて6万平米。

■ ブリジストンが新倉庫を建設



ブリジストンハンガリーが約1万ユーロを投じて Tatabánya（タタバーニャ）市に新倉庫を建設する。新倉庫は1万平米で、18万個のタイヤの保管が可能。新倉庫の建設で在庫保管数量は60万個に増加する。また、昨年、3億ユーロを投じて建設した第二タイヤ工場で生産が開始。ブリジストンハンガリーの2017年の売上高は47%増加で2億ユーロだった。去年は3百万個のタイヤを生産、2018年は5百万個、2020年には7百万個の生産を計画している。2017年は400名を採用、現在1100人を雇用する。

■ 東レ株式会社による投資



東レ株式会社は米国の子会社 Zoltek Companies, Inc. において、ラージトウ1炭素繊維の生産設備増強を決定。Zoltek はハンガリー政府との間で、2015年3月に戦略的提携契約を締結し、ハンガリーで事業運営を行うにあたりインフラ整備や従業員採用、従業員教育への補助など様々な形で、ハンガリー政府から支援を受ける。本増設はこの戦略的提携契約に基づく設備増強計画。今回の設備増強では、Zoltek のハンガリー工場の生産能力を現行の年産1万トンから1万5千トン強に増強する計画。設備投資額は約130百万USD（約137億円）であり、2020年度初めの生産開始を予定している。

弊社に関するニュース

■ 人材募集サービスを開始



Sudy & Co., Ltd. は人材募集業務に携わるための許可を取得しました。日本で就職を希望する方や欧州での就職を希望する方を対象としています。

参考および出所：

<https://bbj.hu>

<http://www.spiegel.de>

<http://www.toray.co.jp>

<https://emerging-europe.com>

<http://www.vie-mission.emb-japan.go.jp>

<https://wiiw.ac.at>

<https://hipa.hu>